

シンポジスト: 長谷川 嘉昭 先生 (医療法人社団 聡歯会 長谷川歯科医院)		
質問者 職種	質問事項	回答
歯科医師	CBCCTで事前の診断が重要となるとありますがCTを活用する上で注意する事項はありますか?	被ばく線量を考え、必要最小限の撮影を心掛けています。
歯科医師	CO2レーザーで血液凝固する場合、タンパク変性が起こると思いますが問題はないのでしょうか?	会場でお答えしました。
歯科医師	低侵襲のオベに対してマイクロはどのように活用していますか?	マイクロ主体のオベはしておりません。
歯科医師	レーザーの使い分けを教えてください。	歯根面・骨面の廓清にはEr-YAGレーザー、血餅の保持にCO2レーザー
歯科医師	貴重な講演ありがとうございました。エルビウムヤグレーザーの効果に驚いたところですが、半導体レーザーについてはどうお考えでしょうか? 同じように使用することは可能でしょうか?	半導体レーザーは使用してないため、回答出来ません。
歯科医師	急発症状のあった下顎前歯のバイタルが不安定だったのはなぜですか	私にも分かりませんが、セメント質剥離の症例ではたまに散見されます。
歯科医師	エムドゲインとリグロスの使い分けはどうかされていますか? またフラップデザインでの差はありますか?	基本フラップデザインはコンベンショナルフラップで再生療法にはエムドゲイン、GBRIにはリグロスを使用しています。

シンポジスト: 小林 馨 先生 (鶴見大学歯学部口腔顎顔面放射線・画像診断学講座)		
質問者 職種	質問事項	回答
歯科医師	ご遺体を使用したCTの誤差について説明がありましたが、実際は患者さんの体動やCTの性能によって誤差はどのように変化するのでしょうか、実際に臨床的に使用できる基準は存在しますか？	乾燥頭蓋骨を使っていますが、臨床使用をシミュレーションしています。0.1mmのボクセルでも信頼できる骨の厚みは0.2mm程度ということです。ボクセルが大きくなればさらに精度は低下します。
歯科医師	CBCTについてわかりやすいご説明ありがとうございました。歯周病診断や治療の評価で最も有効な事項と十分な考慮をしなくてはいけない事項を教えてください。	三次元的な骨吸収の診断には極めて有効です。ただし、骨計測には、0.2mm程度の誤差が生じることを考慮していただく必要があります。
歯科医師	cbctで歯周組織の改善を客観的に評価できますか？	計測方法を検討すれば可能だと思います。
歯科医師	マイクロCTと従来のCTの違いはなんですか	マイクロCTは標本や動物のCTを撮るために作られた高精細のCTでボクセルが0.01mm程度です。ただし、被曝は考慮していませんし、大きなものの撮影は困難です。CBCTはボクセルは最小で0.075~0.10mm、全身用CTは最小で0.25mmくらいです。
歯科医師	線量の話がでしたが、照射野が狭い方が散乱線が抑えられてより明瞭な画像が得られるという理解でいいでしょうか	その通りです。被曝線量も少なくてすみます。
歯科衛生士	メンテナンスの中で、年1回パノラマ撮影をするのですが、長年に渡って毎年撮影することで被曝の影響はありますか？	パノラマX線撮影の被曝線量は10~30 $\mu$ Svです。1回の撮影でおおよそ1/50万~1/200万の確率で生涯のがんの発生リスクが上がります。日本人の生涯のがんの発生リスクは1/2ですので比較していただければかなり影響は少ないことがわかります。
歯科医師	近年、各社から格安のCBCTが発売されていますが、画質等どうお考えでしょうか？	すみません。使用したことがないのでお答えできません。

シンポジスト: 村上 伸也 先生 (大阪大学大学院歯学研究科歯周病分子病態学)		
質問者 職種	質問事項	回答
歯科医師	リグロスと骨補填材の併用について何かわかっていることがあればご教授ください。	動物実験と米国での臨床試験では、 $\beta$ -TCPとの併用が有益である事が示されています。ただし $\beta$ -TCPが最良のパートナーであるとの証拠はありませんので、今後、他の骨補填材との相性も検証される必要があります。
歯科医師	手術時のリグロス塗布時はいつも少し溢れるほど塗布しているのですが、骨欠損内に留めた方がよろしいですか？	リグロス投与時には、骨欠損内に留めるようにして下さい。
歯科医師	リグロス使用でセメント質の再生はされるのでしょうか？	多くの動物実験から、セメント質の再生を伴う線維性付着の再生が誘導されることが確認されています。
歯科衛生士	本日は貴重なご講演ありがとうございます。 スライド内で割愛していらしゃった、リグロス利用に関し、有髄vs無髄？という文面がございましたが、先生はどのようにお考えでしょうか？ また理由も伺えれば幸いです。	臨床試験の結果から、有髄歯・無髄歯共に有意な歯周組織再生がリグロスにより誘導されることが実証されています。